

ひがしそのぎ 議会だより

第 143 号



千綿小学校運動会（9月29日）

9月定例会	2～6ページ
一般質問（3名）	7～8ページ
議会活動報告・町民の声	9～10ページ

条例改正



犬取締条例の一部改正

愛犬の散歩における「ふんの放置」に罰金を適用するもの。

環境美化の推進に関する条例の一部改正

たばこの吸い殻や食べ物の残りがす、チューインガムのかみかす等の具体的な条文に改正し、不法投棄（ポイ捨て）禁止を徹底するもの。

公共下水道処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

下水道法施行令の改正により、規制物質の排水基準を改定するもの。

工場等設置奨励条例の一部改正

長崎県の新規雇用促進補助金の算定対象となった者のうち、本町に住所を有する者を5人以上又は常用雇用の10分の2以上に相当する人数を新規に雇用した場合、本町に住所を有する新規常用雇用人1人につき30万円支給するものなど。

歴史公園彼杵の荘設置及び管理に関する条例の一部改正

「明治の家」及び「体験工房」を商業活動も可能な施設とし、道の駅彼杵の荘として一体的に活用すべく普通財産とするため。

廃止条例

千綿駅舎設置及び管理に関する条例

行政財産を廃止し普通財産として、民間委託などで「まちづくり」の拠点として有効利用を図るため。

平成25年第3回(9月)議会定例会

議案24件、諮問1件、報告1件、陳情2件、請願1件

一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ1億2863万3千円を追加し、総額をそれぞれ、46億7602万9千円とするものであり、今回の補正予算の主なものは歳出において、土木費に町道改良工事費及び舗装補修工事費など4389万6千円、農林水産業費には防霜施設長寿命化対策に3471万8千円、総務費には庁舎外壁改修工事費などに2342万9千円が計上された。歳入においては、特定財源の主なものとして、県支出金に農業生産新技術普及支援事業補助金及び安心こども基金事業補助金など3383万8千円を計上し、一般財源においては、普通交付税7704万1千円のほか、前年度繰越金として1402万7千円が計上された。

9月11日の本会議で提案(説明・質疑)9月19日総務厚生常任委員会での審査の結果可決し、9月25日の本会議で反対はなく全会一致で可決した。

審査の過程で、千綿駅展望台新築工事等実施設計業務委託料の件で、展望台の高さ2.5mはプラットホームの高さほどであり、もう少し思い切った高さにし、出入り口の改良を含め、駅周辺を観光スポットとして捉え、全体的な構想を望むとの意見がありました。

今議会最終日に一般会計補正予算(第3号)で広域農道千綿宿交差点の改良工事費100万円が緊急工事を行うため上程され歳入歳出がそれぞれ増加計上された。

国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ63万4千円を追加し総額をそれぞれ12億4193万4千円とするものであり、歳出の諸支出金には、療養給付費交付金前年度清算に伴う返還額が見込まれるために計上された。なお財源として療養給付費交付金繰越金が計上された。

介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ2015万円を追加し総額をそれぞれ9億2226万円とするものであり、歳出では介護給付費準備基金積立金に2000万円、介護保険料過年度還付金に15万円が計上された。補正の財源として前年度繰越金2000万円が計上された。

税条例の一部を改正する条例

地方税の一部を改正する法律が平成25年3月30日に公布され、同法の一部を改正する政令及び地方税法施行規則の一部を改正する省令が平成25年6月12日に公布されることに伴い、本条例の一部を改正する必要があるため。

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法の一部を改正する法律が公布されるため、本条例の一部を改正する必要があるため。

消防団員定数、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

消防団員定数を376人から379人に改めるため。

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

畜犬指導員の設置は必要性もなく平成16年度以降未設置の状態であり畜犬指導員の報酬が必要のため。

平成24年度決算(一般会計)を不認定

採決の結果 賛成者 3名 反対者 7名 欠席者 1名

繰越明許費補正の中で龍頭泉山の家屋根改修工事において、当初町民の財産の価値を高めるという目的で議決した趣旨と違って、議会には何の承諾もなく解体されたものである。監査委員の審査意見書にある通り、新たな予算措置を講ずるべきであったとの意見が多数を占め賛成少数で不認定となった。



平成24年度歳入歳出決算額

(単位：千円、%)

会計別	予算現額	決算額				差引残額 A - B	差引残額のうち 翌年度へ繰越す べき財源
		収入済額A	予算 執行率	支出済額B	予算 執行率		
一般会計	4,892,538	4,772,016	97.5	4,613,707	94.3	158,309	60,844
議会費	83,334			82,810			
総務費	654,092			637,767			
民生費	1,127,351			1,111,203			
衛生費	272,570			262,890			
労務費	10			0			
農林水産業費	341,682			323,010			
商工費	54,094			49,278			
土木費	893,986			717,094			
消防費	172,283			169,291			
教育費	406,359			387,792			
災害復旧費	44,683			40,256			
公債費	832,319			832,316			
諸支出金	1			0			
予備費	9,774			0			

賛成意見

適正に処理されており、決算全体を認める。前年度繰越明許費の使途について、検証することがあったが、何ら法的拘束力はない。町長の権限であり、施設の活用使用の状況、また老朽化施設であり将来を見込んだ効率の良い必要な処置である。

財務規則等問題ない。町民に対して不利益、違法性を与えたとは言えない。

反対意見

龍頭泉山の家屋根改修工事において、23年度の補正予算では有効活用することで議決をしたが、24年度へ繰越明許費補正となり、議会に諮ることなく解体された。当初の目的とかけ離れ、町民の貴重な財産を失う結果となった。

本来なら臨時議会を開催し繰越明許費を取り下げ、新たに解体費用の補正予算を組むべきだった。

★「東彼杵町固定資産評価審査委員の選任について」

次の者を東彼杵町固定資産評価員に選任したいので、地方税法第423条第3項の規定により、議会の同意を求める。

住所 東彼杵町平似田郷812番地
氏名 一瀬 利秋
生年月日 昭和31年11月28日生

同意

全会一致

★「人権擁護委員の推薦について」

次の者を人権擁護委員の候補者として推薦したいので、人権擁護委員法第6条3項の規定により、議会の同意を求める。

住所 東彼杵町千綿宿郷1269番地6
氏名 林 キト
生年月日 昭和25年9月25日生

適任と認める

全会一致

★ 認証保育施設支援事業の拡大に関する陳情書

陳情者 長崎県子育て支援協会

平成24年度から認可外保育園（認証保育施設）支援事業として、職員の待遇改善・保育環境の改善・利用者の負担軽減等を目的として県内22施設の認可外保育園が補助金の対象になりましたが、広域入所・障害児の受け入れについては、支援事業の対象になっていないので、これを支援の対象としてほしいとの陳情である。

全会一致採択

義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願

請願者 東彼杵町の教育を考える会

義務教育費国庫負担制度は、教育の機会均等及び義務教育費無償の原則として、全国のどこで学んでも子供たちが等しく教育を受けることができるようにするとともに、自治体間における教育水準に格差を生じさせないことを目的にした制度ですが、平成18年より国の負担が2分の1から3分の1に減額され、自治体間で教育費に対する格差が生じています。またGDPに占める教育費の割合はOECD加盟国中、日本が最下位である現状を鑑み、義務教育費国庫負担を元の2分の1に戻すようにとの請願である。

全会一致採択

女性対話集会の内容と今後の展開は

【町長】今回はあくまでも聞くだけで、2回目に要望・意見をまとめ3回目に地区のリーダーなどを決めてもらい実施計画

【町長】今回のあくまでも聞くだけで、2回目に要望・意見をまとめ3回目に地区のリーダーなどを決めてもらい実施計画

【町長】今回のあくまでも聞くだけで、2回目に要望・意見をまとめ3回目に地区のリーダーなどを決めてもらい実施計画

【町長】今回のあくまでも聞くだけで、2回目に要望・意見をまとめ3回目に地区のリーダーなどを決めてもらい実施計画

吉永 秀俊 議員



一般質問
(本稿は質問者の責任で作成しています)

【議員】国や全国の自治体では、男女がそれぞれを尊重し、協力して地域を作っていく「男女共同参画社会」を推進しているが、女性だけの集会は時代の潮流に逆行してはいないか。

【町長】女性とは色々な行事や集会に参加が少なく、関心がないので、意見を聞く機会がほとんどないから。

【議員】4月から開催されている『まちづくり会議』にはどのようにして選ばれた人が、何人で、どの様な事が話し合われているのか。

【まちづくり課長】公募したが、予定通り集まらなかったの各各地区から2名推薦してもらい合計80名で、今後の総合計画について意見を出してもらっている。現在は40名程度の参加である。

【議員】スタジオオシとの委託内容は、

【まちづくり課長】来年3月までの2年契約で、約1100万円です。



【議員】千綿駅は公衆の時は行政財産であり、契約できない建物であった。今後は法令順守に努められたい。また現在の契約は、

【町長】今後は注意したい。現在の駅構内管理・トイレ清掃の委託は来年3月までの契約を交わしている。

【議員】千綿駅は公衆の時は行政財産であり、契約できない建物であった。今後は法令順守に努められたい。また現在の契約は、

千綿駅の今後の改修計画と構想は

【町長】公募で応募された業者にうどん屋等をしてもらい、NPOにコーヒート等をしてもらう予定である。

【議員】町内では今後益々高齢化が進み限界集落も数地区出てくる。今後のまちづくりは高齢者の参画なしには考えられないが、長野県小川村や徳島県上勝町の様な高齢者の社会参画の計画はないか。

浪瀬 真吾 議員



住みやすい町づくりの方策は

【議員】ここ5年間で600人を超える人口が減少している中で、魅力ある住みやすい町、暮らしやすい町、若い人たちが住んでみたい町づくりのために、どういった政策を考えているか。

【町長】少子化対策は、日本全国を見ても減ってきているので無理だと思ふ。若者を定着させるため企業誘致や新規就農を進め、若者が住める住宅政策や光ファイバーの設置が重要と思う。学校の規模適正化も早急に決着をつける。町バスや福祉タクシーの再整備、合併浄化槽の整備をしなければならぬ。

【議員】企業誘致もスペースがなくなかなか進まない中で、教育の町、ベッドタウンの町として、若い人に住んでもらうため

【議員】企業誘致もスペースがなくなかなか進まない中で、教育の町、ベッドタウンの町として、若い人に住んでもらうため

農業振興策は

【議員】環太平洋パートナーシップ(TPP)交渉が、ブルネイで開催され、日本を始め12ヶ国で協議がされた。今後の行方に関心があるが、農業政策はどのようになっているか。

【町長】農家が減ってきている中で人・農地・プラン等の対策でやっていく。どこかで変わった方策をやり、IT等を活用していかねければ付いていけない。

【議員】基幹作目であるお茶の販売価格の低迷で3番茶は流通センターで集荷をしておられないなど厳しい現状であり、農協とタイアップして攻撃型の農業を考えなければならぬが今後の方策は

【議員】基幹作目であるお茶の販売価格の低迷で3番茶は流通センターで集荷をしておられないなど厳しい現状であり、農協とタイアップして攻撃型の農業を考えなければならぬが今後の方策は

女性との対話集会の成果は

【議員】男性には気づかない女性ならではの意見や要望等、また町を活性化させるためのアイデア等をどう集約し活かしていくか。

【町長】纏めはあまりまだしていない。課題を出してもらって、悪いところはどうすれば克服するか、良いところは更に伸ばすためどうすればかは次回の話。発想が生まれたら町の方で推進をする。

平成24年度特別会計歳入歳出決算はすべて全会一致で認定されました

決算特別委員長報告の要旨

特別会計8件の予算の執行や財産管理についても適法かつ適正に執行されていることを認め、認定すべきものと決定した。

国民健康保険事業

歳入総額は対前年比7.19%増の12億2038万2千円、歳出総額では7.68%増の11億9518万7千円であった。歳入では、療養給付費交付金、前期高齢者交付金、県支出金、繰入金、繰越金、の増で国民健康保険税、国庫支出金の減であった。

介護保険事業

歳入総額は8億5958万円、歳出総額は8億2332万3千円となった。歳出は、保険給付費で24年3月から翌年2月までの12ヶ月の介護サービスの給付と24年4月から翌年3月までの償還払いが対象である。

公共用地等取得造成事業

歳入総額は3549万3千円、歳出総額は3502万8千円であった。

簡易水道事業

歳入総額は2億168万6千円、歳出総額は1億8685万5千円であった。営業収入は1億3643万3千円で、主に水道料金である。営業費用は8318万2千円で営業収支は5325万1千円の黒字となった。

農業集落排水事業

歳入歳出総額はともに3466万8千円であり、実質単年度収支は△6千円であった。

漁業集落排水事業

歳入歳出総額はともに641万2千円であった。

公共下水道事業

歳入総額は3億4143万6千円、歳出総額は3億3886万6千円、歳入歳出差引額は257万円となり、実質収支額は95万3千円で実質単年度収支は72万6千円であった。供用開始戸数は972戸、公共下水道での普及率は60.3%、下水道処理人口接続率は71.1%である。

後期高齢者医療

歳入総額は9173万7千円、歳出総額は9138万1千円であった。

議会活動報告

産業建設文教常任委員会

●肉牛視察研修による価格の動向調査

第21回東彼杵郡町村会主催肉牛共励会が、7月5日佐世保食肉センターで開催され、郡内から計40頭の丹精込められた牛が出品された。東彼杵の枝肉平均重量521.7kg、BMS平均No6.6、単価1,941円で昨年よりアップしていた。

グランドチャンピオンに本町の塚本俊一氏とAコープ賞に久保吉一氏が輝かれた。



●平成24年度繰越明許費事業箇所及び建設関係工事等要望箇所調査

24年度中に完了できなかった繰越明許費事業箇所9件と25年度までの建設関係工事等要望箇所197件の中で、今年度着工予定39箇所の内11箇所について調査した。



委員長研修会

県下8町の委員長研修会が、長与南交流センターで開催され、正副議長をはじめ5人の委員長が出席した。委員会の運営（調査機能）についてと、参院選に見る有権者意識と日本政治の行方と題しての講義を受けた。



岡田伊一郎 議員

花粉症などに効果が
見込まれるお茶

【議員】農産物の新たな付加価値を見出して、生活習慣病や認知症の予防に役立つ「機能性農産物」の研究、開発に農林水産省が本腰を入れ始めた。報道された。お茶の新品種にはメチル化カテキンを多く含む動脈硬化の予防に効果があり、花粉症などのアレルギー対策でも効果が見込まれる。他に糖尿病予防に効くというアミロースを含むコメなどがあるが、取り組む考えは。

【町長】県でもビワ茶や、他市町でも野菜ノリ、ブルーベリーキウール、ツバキ茶などに取り組まれている。しかし、効用は認められているが、特定保健用食品のように具体的な効用

【議員】子どもの本音を把握し、いじめや不登校の予兆を把握するため、児童、生徒の心情や対人関係などを図表化して測る心理テストの導入状況は。

【教育長】千綿中学校と千綿小学校で実施している。国・県の学力テストもあり、費用も一人あたり3



【議員】茨城県つくば市に「農業・食品産業技術総合研究機構」があり、品種改良が行われているが、研修などの連携がでないか。

【町長】いろんな情報を集め、検討したい。

00円ではあるが、今後他小中学校でも取り組みたい。

【議員】担任だけではなく、時には家庭や地域と一緒に問題に対処していく考えは。

【教育長】学期、月、週単位で情報交換、家庭訪問、いじめ・不登校対策や民生委員さんとの連携を行っている。

【議員】教師の体罰は発生事案があるのか。

【教育長】県教育委員会へ報告した件数は3件である。

【議員】インターネットの掲示板やラインなどでのいじめについての対処は検討されているか。

【教育長】専門家講師としてお願いし、各学校で研修会を実施している。今度、千綿小学校で研修会があるので、全小中学校、郡内にも呼びかけている。



賛否表

○賛成 ●反対 △欠席

議案名	堀進一郎	橋村孝彦	浪瀬真吾	福田修	滝川初夫	吉永秀俊	佐藤隆善	樋口庄次郎	岡田伊一郎	後城一雄	本下利之
東彼杵町税条例の一部を改正する条例 他14議案	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度東彼杵町一般会計歳入歳出決算認定の件	○	●	●	△	●	●	○	●	●	○	●
平成24年度東彼杵町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度東彼杵町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度東彼杵町公共用地等取得造成事業特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度東彼杵町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度東彼杵町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度東彼杵町漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度東彼杵町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度東彼杵町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○

学校適正規模調査検討特別委員会

学校適正規模調査検討特別委員会の最終調査報告として、2年を超える10回の委員会に教育委員会と並行しながら調査研究をしてきた。保護者や地域住民の間には様々な意見がある中で、現実を鑑みた場合小学校2校、中学校1校が望ましいとの事で、登下校の通学手段や廃校後の利活用についても理解が得られるよう保護者や地域住民と行政が一体となり研究を重ね推進されることを強く望むという内容で議会も一致した。



町民の声

親和銀行 彼杵支店
支店長 松尾 秀樹

今年4月に着任したばかりですが、地域の方々と日々交流させて頂く中で皆様の温かさに触れ、自然と溶け込むことができそのありがたさを感じているところです。

また、赴任当時すぐ出席させて頂いた小中学校の入学式が記憶に新しい中、先日開催された彼杵中学校体育大会では初々しかった1年生も中学生らしく立派に成長されている姿を目にして私自身も想いを新たにしたところです。

さて、私にとって東彼杵町は個人的な縁もあって家族で景勝地などに多く訪れていました。「そのぎ茶市」や「祇園祭」、「花火大会」などの諸行事に触れ、その地域性の豊かさを身を持って感じ、当地で仕事ができる喜びを実感する毎日を送っています。10月にも彼杵神社の「例大祭」や「奉納相撲大会」など多くの行事に参加させて頂く予定です。

また、今春から開催されている「まちづくり会議」にも各地区交互に参加させて頂いており、意見交換を重ねる中で参加者からの《熱い想い》を直接感じ、将来への可能性とそのポテンシャルの高さに共に《夢》を抱かずにはいられません。私たちも地域でお世話になっている金融機関として少しでもお役に立ちたいとの思いでいっぱいです。

当店も明治30年に前身である福竹銀行（のちの彼杵銀行）と千綿銀行を始まりとし、皆様のお蔭を持ちまして以来約120年の歴史を当地で刻んでいます。同時に現存する赤レンガの門も当時を偲ばせる貴重な財産であると考えています。

最後になりますが、当行は「あなたのいちばんに」をスローガンとして掲げており、お客様起点を第一に地域と共に発展していきたいと願っております。私も常に三つの「こうどう」～孝道・行動・広動～をモットーとし精一杯努めて参りますのでよろしくお願い致します。



議会広報編集常任委員会
委員長 佐藤 隆善
副委員長 滝川 初夫
委員 橋村 孝彦
委員 吉永 秀俊
委員 浪瀬 真吾
委員 岡田 一郎

町民の声

大募集！



議会だよりへ掲載する町民からの声を募集しています。ご希望の方は、町議会事務局までご連絡ください。